



BAR 500MK2



取扱説明書

重要な安全上の注意

使用前に電源電圧を確認する

JBL BAR 500MK2は100-240ボルト、50/60HzのAC電流で使用できるように設計されています。本製品が対応していない電源電圧に接続すると、安全上の問題および火災の危険があり、本機に損傷を与える可能性があります。特定のモデルの電圧の必要性、またはお住まいの地域の電源電圧についてご質問がありましたら、コンセントに本機をつなぐ前に販売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

延長コードは使用しないこと

危険を回避するため、本機に付属した電源コード以外は使用しないでください。本製品に延長コードを使用することはお勧めできません。全ての電気器具と同様、電源コードをじゅうたんまたはカーペットの下に通したり、上に重いものを置かないでください。破損した電源コードが同梱されていた場合は、認定サービスセンターがただちに工場の仕様に適合したものにお取替えます。

AC電源コードは丁寧に扱う

ACコンセントから電源コードを外す時は、常にプラグを持つようにしてください。絶対にコードを引っ張らないでください。長期間このスピーカーを使用しない場合、ACコンセントからプラグを外してください。

本体を分解しない

本製品内にはお客様が修理できる箇所はありません。本体を開けると感電する可能性があります。製品に何らかの改造を行うと、お持ちの保証書が無効になります。水が誤って本機内に入った場合、ただちにAC電源から本体を取り外し、認定サービスセンターにご相談ください。

目次

重要な安全上の注意	1
------------------	----------

1. はじめに	4
----------------	----------

2. 同梱品	5
---------------	----------

3. 製品の概要	6
3.1 サウンドバー	6
3.2 サブウーファー	8
3.3 リモコン	9

4. 設置方法	10
4.1 台への設置	10
4.2 壁に取り付ける	11

5. 接続する	12
5.1 TVおよびデジタル機器との接続	12
5.2 BLUETOOTH接続	15
5.3 ホームネットワークとの接続	16

6. 設定	18
6.1 電源に接続	18
6.2 3Dサラウンドサウンド	19

7. 再生	22
7.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ	22
7.2 TVソースからの再生	23
7.3 HDMI INソースからの再生	25
7.4 BLUETOOTHソースからの再生	26
7.5 ホームネットワークを使って再生する	26
7.6 マルチルーム再生	30

8. その他の使用方法	31
8.1 サウンド設定 (オーディオシンク)	31
8.2 工場出荷時設定への復元	31
8.3 ソフトウェアアップデート	32
8.4 二重音声放送を切り替える	32

9. サブウーファアの再接続	33
-----------------------	-----------

10. 製品の仕様	34
------------------	-----------

11. トラブルシューティング	36
------------------------	-----------

12. 商標	39
---------------	-----------

13. オープンソースのライセンスに関する注意	41
--------------------------------	-----------

1. はじめに

JBL BAR 500MK2をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品は、卓越した3Dサウンドを生み出すように設計された、ホームエンターテインメントシステムです。少々お時間を割いて、この取扱説明書をご覧くださいませよう願いたします。この取扱説明書では製品に関する説明と使用開始するまでの各手順をひとつひとつ説明しています。

製品の機能とサポートをフル活用するには、今後インターネットで製品のソフトウェアをアップデートする必要があります。この取扱説明書のソフトウェアアップデートセクションを参照して製品のソフトウェアが最新バージョンになっていることをお確かめください。

設計と仕様は予告なしに変更されることがあります。サウンドバーと設置または操作について何かご質問がありましたら、販売店またはカスタマーサービスにご連絡いただくか、または当社のウェブサイト、www.jbl.comにアクセスしてください。

JBL Oneアプリ

JBL Oneアプリでは次のことができます

- 簡単かつ完璧な製品の設定。
- *音楽ストリーミングサービスへの接続。
- 統合された音楽配信サービスの中からの新しい音楽の探索。
- 利用可能な場合は、ソフトウェアアップデートへのアクセス。
- オーディオ設定のカスタマイズ。
- 追加機能へのアクセス。



詳細については、「[5.3 ホームネットワークとの接続](#)」と「[7.5 ホームネットワークを使って再生する](#)」をお読みください。

注:

- *別途サブスクリプション契約が必要であったり、JBL Oneアプリがお住まいの国でサービスを提供していない場合があります。
- ソフトウェアアップデートを行うと、取扱説明書のアプリ画面と異なる場合があります。常に、アプリの指示に従ってください。

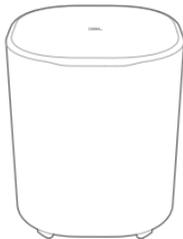
2. 同梱品

注意して箱を開封し、以下の物が同梱されていることをお確かめください。いずれかが破損している、または見当たらない場合は、販売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

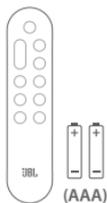
サウンドバー



サブウーファー



リモコン(単4乾電池2本付属)



電源コード

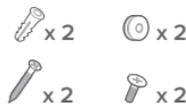


x 2

HDMIケーブル(1.2m)



壁取り付け用キット



x 2

x 2

x 2

x 2



x 2

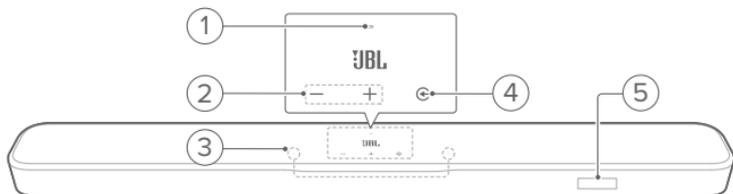
製品情報&壁取り付け用型紙



3. 製品の概要

3.1 サウンドバー

3.1.1 前面パネル&トップパネル



1) ステータスインジケータ

システム:		
	規則的な点滅 (白色)	システムの起動
	素早く点滅 (白色)	ソフトウェアのアップデートが進行中
	点灯 (橙色)	工場出荷時の設定へ復元
ネットワーク接続:		
	ゆっくり点滅 (白色)	Wi-Fi設定モードに入っているか、またはネットワークに未接続
	点灯 (白色)	ネットワークに接続済み
	点灯 (黄色)	微弱なWi-Fi接続

2) 一十 (音量)

- 電源を入れます。
- 音量の増減。
- 2つの音量ボタンを同時に押すと、スピーカーをミュートまたはミュート状態を解除します。
- 2つの音量ボタンを同時に10秒以上長押しすると、Wi-Fi設定モードに入ります。

3) マイク

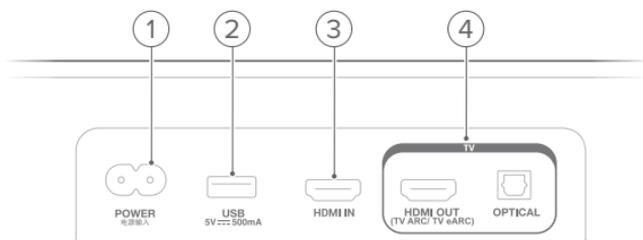
- サウンドキャリブレーション用

4) (入力ソース)

- 電源を入れます。
- サウンド入力ソースを選択してください: **TV** (デフォルト、TV接続からオーディオ入力する場合は**HDMI OUT (TV ARC/ TV eARC)** 端子が**OPTICAL**端子より優先)、Bluetoothまたは**HDMI IN**。
- 3秒以上長押しするとBluetoothペアリングモードに入ります。

5) ステータス表示

3.1.2 リアパネル



1) POWER

- 電源に接続します (付属の電源コードを使用してください)。

2) USB

- ソフトウェアアップデート用USB端子 (アフターサービスのみで使用)。
- 日本モデルではUSBストレージからMP3ファイルを再生することはできません。

3) HDMI IN

- デジタル機器のHDMI出力に接続します。

4) TV端子

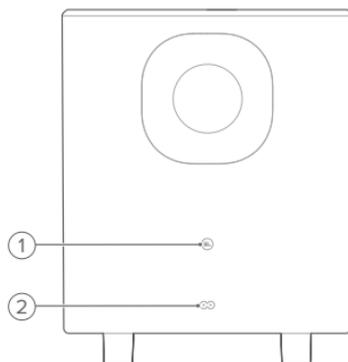
HDMI OUT

- TVのHDMI ARC/HDMI eARC入力に接続します。

OPTICAL

- TVまたはデジタル機器の光デジタル出力と接続します。

3.2 サブウーファー



1)

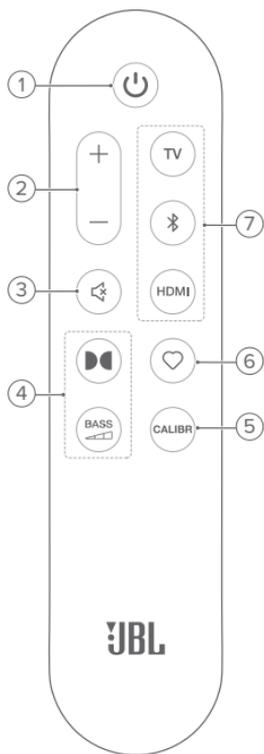
- 接続状態のステータスインジケータ

○	点灯 (白色)	サウンドバーに接続済み
☼	素早く点滅 (白色)	ペアリングモード
⊙	規則的に点滅 (白色)	再接続モード
●	点灯 (橙色)	スタンバイモード

2) 電源端子

- 電源に接続します (付属の電源コードを使用してください)。

3.3 リモコン



1) 電源

- 電源オンまたはスタンバイ状態にする。

2) 音量

- 音量の増減します。
- 押し続けると、音量が連続で増減します。

3) ミュート

- ミュート/ミュート解除。

4) サウンドエフェクトボタン



- バーチャルDolby Atmos® サウンドエフェクトをオンまたはオフにします (デフォルト: オン)。

BASS



- サブウーファー用の低音レベルを選択します: 1/2/3 (デフォルト) / 4/5。

5) CALIBR

- サウンドキャリブレーションを開始します。

6) Moment

- プレイリスト、またはJBL Oneアプリでカスタマイズした設定にダイレクトにアクセスします。

7) 入力切替

TV

- TVをソースとして選択します (デフォルト、TV接続からオーディオ入力を行う場合はHDMI OUT (TV ARC/ TV eARC) 端子がOPTICAL端子より優先)。

Bluetooth

- Bluetoothソースを選択します。
- 3秒以上長押しするとBluetoothペアリングモードに入ります。

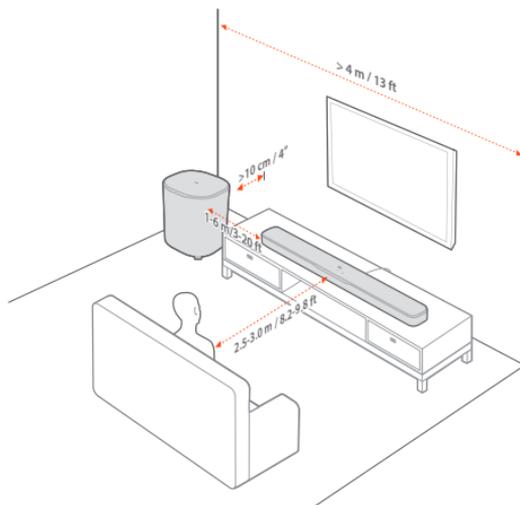
HDMI

- HDMI INソースを選択します。

4. 設置方法

4.1 台への設置

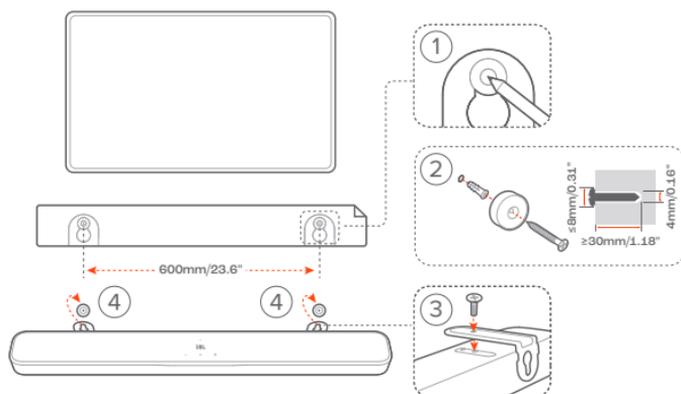
製品は水平で安定した台の上に設置してください。以下の図の推奨距離を参照してください。



注:

- 電源コードを正しく電源に接続してください。
- サウンドバー、またはサブウーファーの上には何も置かないでください。

4.2 壁に取り付ける



1. 準備:
 - a) 付属の壁取り付け用型紙をテープで壁に貼り付けてください。
 - b) ペンなどでねじ穴の位置に印を付けてください。その後、型紙を取り外してください。
 - c) 印を付けた壁に4mmの穴を開けてください。
2. 壁に取り付け金具の受けねじを取り付けます。
3. 金具をサウンドバーの底部にねじで固定します。
4. サウンドバーを壁に取り付けます。

注:

- 事前に壁がサウンドバーの重量に耐えられることを確認してください。
- 垂直の壁以外には取り付けないでください。
- 高温、または高湿度状態で設置しないでください。
- 壁に取り付ける前に、サウンドバーと外部デバイス間のケーブルが全て正しく接続されていることを確認してください。
- 壁への取り付け前に、サウンドバーの電源が入っていないことを確認してください。電源が入っていると、感電の原因となることがあります。

5. 接続する

5.1 TVおよびデジタル機器との接続

サウンドバーでオーディオ再生を行うには、付属のHDMIケーブル、または光デジタルケーブル（別売）を使って、サウンドバーをTVに接続してください。

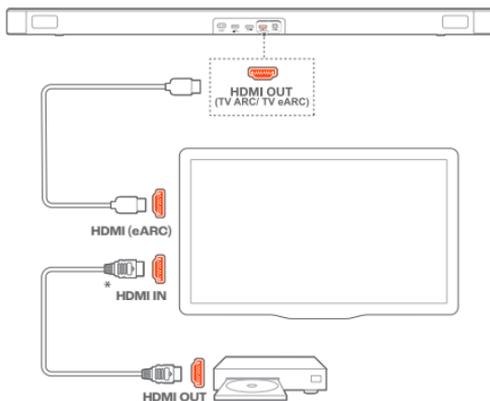
HDMI接続は、ケーブル1本の接続によりオーディオと映像の両方を出力できます。このサウンドバーの接続にはHDMIを推奨します。

注:

- TVとサウンドバーがHDMIと光デジタルの両方のケーブルで接続されている場合は、HDMIケーブルでの接続が優先されます。
- HDMI-CECデバイスへの完全対応は保証できません。
- *HDMIケーブル（デジタル機器接続用）および光デジタルケーブルは別売です。

5.1.1 TV (HDMI eARC)

(ドルビーアトモスを最大限に楽しむための推奨接続)



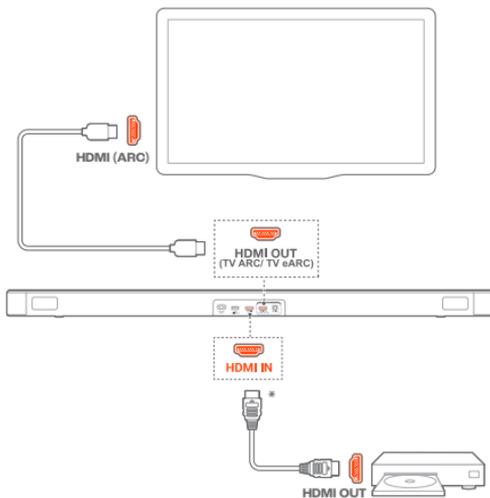
1. 付属のHDMIケーブルを使って、TVのHDMI IN (eARC) 端子をサウンドバーに接続してください。
 - TVがHDMI-CECとHDMI eARCに対応しているかどうかを確認してください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。

- HDMIケーブル (V2.0以降) を使用して、ストリーミングデバイス、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤーまたはゲーム機などのデジタル機器とTVを接続してください。
 - デジタル機器がHDMI-CECに対応しているかどうかを確認してください。詳細については各デジタル機器の取扱説明書をご参照ください。
 - ドルビーアトモスを最大限に楽しむために、TVとデジタル機器で音声出力設定の「ビットストリーム」または「オリジナルデータ」を選択してください。

注:

- TVに接続されたデジタル機器からオーディオを再生するには、**TVソース**を選択してください(「[7.2 TVソースからの再生](#)」をお読みください)。
- バーチャルドルビーアトモス設計により、このサウンドバーのドルビーサラウンドアップミキサーは5.1および7.1コンテンツを含むドルビーデジタルフォーマットのレガシーチャンネルベースのオーディオを拡張することができ、臨場感のある3Dアトモス体験を実現します。

5.1.2 TV (HDMI ARC)



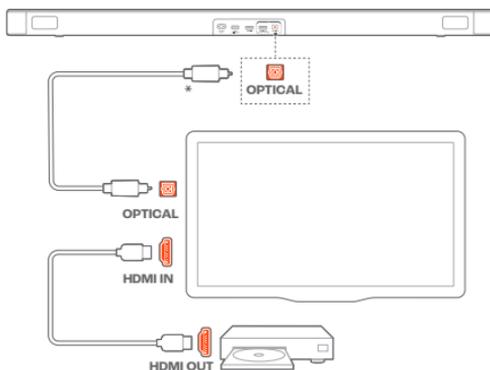
- 付属のHDMIケーブルを使って、TVの**HDMI IN (ARC)**端子をサウンドバーに接続してください。
 - TVがHDMI-CECとHDMI ARCに対応しているかどうかを確認してください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。

- HDMIケーブル (V2.0以降) を使用して、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤーまたはゲーム機などのデジタル機器とサウンドバーを接続してください。
 - デジタル機器がHDMI-CECに対応しているかどうかを確認してください。詳細については各デジタル機器の取扱説明書をご参照ください。
 - ドルビーアトモスを最大限に楽しむために、デジタル機器でオーディオ出力設定の「ビットストリーム」または「オリジナルデータ」を選択してください。

注:

- サウンドバーに接続されたデジタル機器からオーディオを再生するには、**HDMI IN**ソースを選択します(「[7.3 HDMI Inソースからの再生](#)」をお読みください)。
- TVがHDMI eARCに対応していない場合、TVの代わりにサウンドバーの**HDMI IN**端子を通してデジタル機器に接続していることをご確認ください。このように接続しないと、ドルビーアトモスの情報をHDMI (ARC) 端子を通してサウンドバーに送ることができません。

5.1.3 光デジタル端子



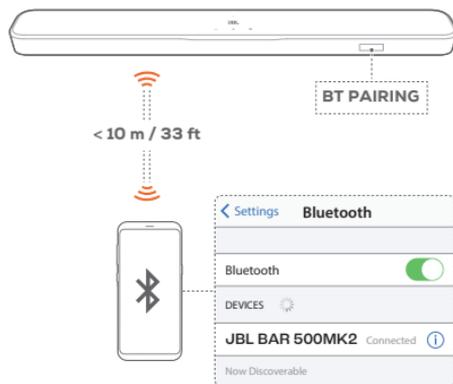
- 光デジタルケーブルを使って、サウンドバーをTVに接続してください。
- HDMIケーブル (V2.0以降) を使用して、ストリーミングデバイス、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤーまたはゲーム機などのデジタル機器とTVを接続してください。

注:

- 光デジタルケーブルを通してオーディオを再生するには、**TV**ソースを選択します(「[7.2 TVソースからの再生](#)」をお読みください)。

5.2 Bluetooth接続

Bluetoothで、スマートフォン、タブレット、ノートPCといったBluetooth対応デバイスにサウンドバーを接続してください。



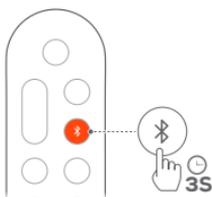
5.2.1 Bluetooth対応デバイスへの接続

1. Bluetoothソースを選択するには、サウンドバーの 、またはリモコンの  ボタンを押してください。
→ 「BT PAIRING」: Bluetoothペアリングの準備完了
2. Bluetooth対応デバイスの方では、Bluetoothが有効になり、3分以内に「JBL BAR 500MK2」の検索を開始します。
→ 「BT CONNECTED」: 正しく接続されました。確認音が鳴ります。

5.2.2 最後にペアリングしたデバイスを再接続する

本機はスタンバイモード時もペアリングしたBluetooth対応デバイスを記憶しています。次回にBluetoothソースに切り換えた際、サウンドバーが自動的に最後にペアリングしたデバイスとの再接続を行います。

5.2.3 別のBluetooth対応デバイスに接続する



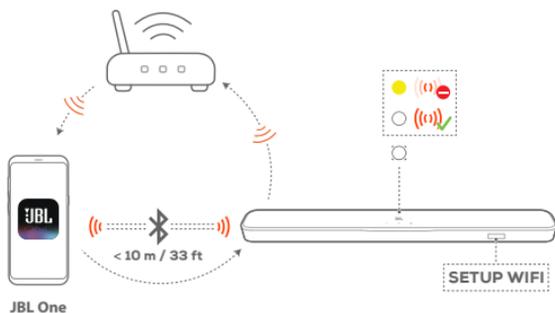
- Bluetoothソースで「BT PAIRING」が表示されるまで、サウンドバーの  またはリモコンの  ボタンを3秒長押ししてください。
→ サウンドバーがBluetoothペアリングモードに入ります。
- 「[5.2.1 Bluetooth対応デバイスへの接続](#)」の手順2に従ってください。
 - デバイスがサウンドバーにペアリングされていた場合は、まずデバイスの「JBL BAR 500MK2」のペアリングを解除してください。

注:

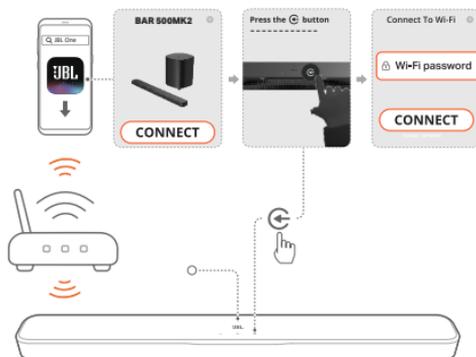
- Bluetooth接続は、サウンドバーとBluetooth対応デバイスの距離が10mを超えると、接続が切れてしまいます。
- 周辺に電子機器があると、電波が干渉を受けることがあります。電子レンジ、ワイヤレスLAN機器などの電磁波を出すデバイスはサウンドバーから離してお使いください。

5.3 ホームネットワークとの接続

JBL Oneアプリと対応するストリーミングサービス (Google Cast, AirPlay, Spotify Connect) により、サウンドバーはスマートフォンまたはタブレットから音楽をストリーミングすることが可能です。



- サウンドバーでWi-Fi設定モードに入ってください：
 - いずれかのボタンを押すと電源が入ります（[「7.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ」](#)をお読みください）。
 - サウンドバーがネットワークに接続されていない場合は、画面に「HELLO」、次に「SETUP WIFI」と表示されます。
- Android™またはiOSデバイスでWi-Fiホームネットワークに接続してください。JBL Oneアプリをダウンロードしてください。
- JBL Oneアプリを起動してください。アプリの指示に従ってWi-Fi設定を完了してください。



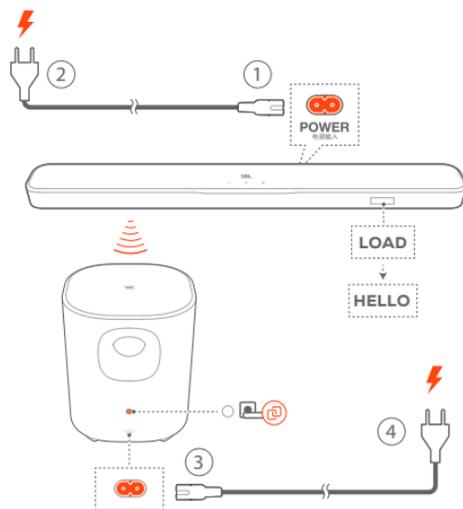
- (白色で点灯) : サウンドバーがホームネットワークに接続されています。
- JBL Oneアプリ、またはJBL Oneアプリに対応したストリーミングサービスから音楽をストリーミングすることができます（[「7.5 ホームネットワークを使って再生する」](#)をお読みください）。

注：

- JBL Oneアプリでサウンドバーが見つからない場合は、**一と+**を同時に10秒以上長押しして再度Wi-Fi設定モードに入ってください。
- AndroidまたはiOSデバイスでは、JBL Oneアプリでサウンドバーの名称を変更することができます。
- iOSデバイスで、Apple Homeアプリにサウンドバーを追加し、その他のAirPlay対応スピーカーと一緒に管理することができます。
- iOSデバイスで、サウンドバーがWi-Fiホームネットワークに追加されている場合、AirPlay対応アプリからAirPlayストリーミングを開始することができます（[「7.5.2 AirPlayを通じた再生」](#)をお読みください）。
- どの音楽ストリーミングサービスが利用できるかは国によって異なります。
- サブスクリプション契約がないと使えないサービスや、国によって使えない機能があります。

6. 設定

6.1 電源に接続



1. 付属の電源コードを使って、サウンドバーを電源に接続してください。
→ サウンドバーの画面に「LOAD」、そして次に「HELLO」と表示されます。
2. 付属の電源コードを使って、サブウーファーを電源に接続してください。
→ サブウーファーがサウンドバーに自動的に接続されます。**接続済み:**  白色で点灯します。

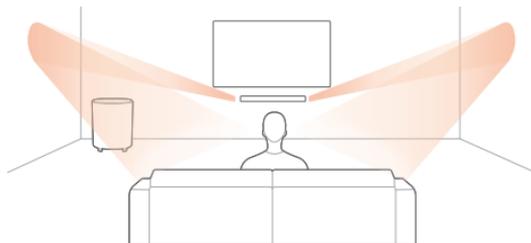
注:

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 電源への接続前に、他の接続 ([「5.1 TVおよびデジタル機器との接続」](#)をお読みください) が全て完了していることをご確認ください。

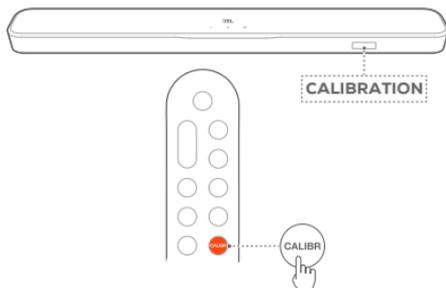
6.2 3Dサラウンドサウンド

6.2.1 サウンドキャリブレーション(音場測定)

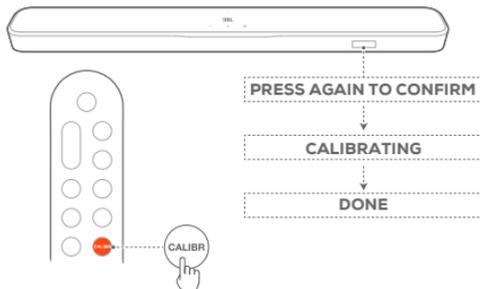
リスニング環境に合わせて、3Dサラウンドサウンド体験を最適化できます。



1. リモコンで、**CALIBR**を押してキャリブレーションを開始します。
→ サウンドバーに「**CALIBRATION**」と表示されます。



2. 「**PRESS AGAIN TO CONFIRM**」が表示されたら、再度**CALIBR**を押します。



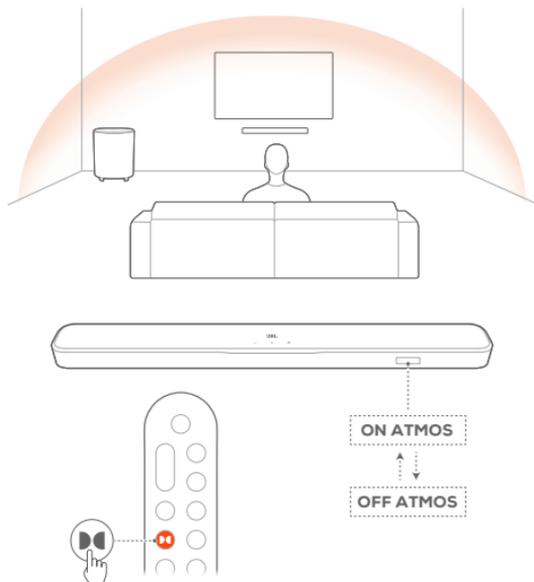
- 5から1までのカウントダウンが始まります。
- 測定音が鳴り始めます。オートキャリブレーションが開始されます。
「CALIBRATING」：キャリブレーションが進行中
「DONE」：キャリブレーションが正しく完了しました

注：

- サウンドキャリブレーション中、以外のリモコンのボタンはすべて無効になります。
- サウンドキャリブレーション中は、部屋の環境音をマイクで録音します。**CALIBR**を10秒以上長押しし、次にを押すと録音されたオーディオを再生します(米国モデルのみ)。

6.2.2 Dolby Atmos

TV/HDMI INソースで映画を再生する場合は、バーチャルドルビーアトモスを搭載した高さ方向に広がるサウンドエフェクトをお楽しみください。



1. 「[5.1 TVおよびデジタル機器との接続](#)」で説明されているBlu-rayプレーヤーまたはストリーミングデバイスを接続・再生してください。

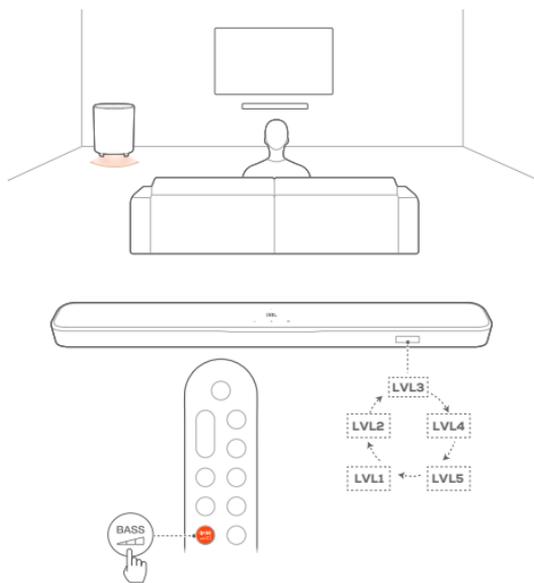
- リモコンの **BASS** ボタンを押して、高さ方向に広がるサウンドエフェクトをオンまたはオフにしてください（デフォルト：オン）。

注：

- 映画鑑賞または音楽鑑賞中に高さ方向に広がるサウンドエフェクトを無効にしたい場合は、Dolby Atmosサウンドエフェクトをオフにしてください。
- Dolby AtmosサウンドエフェクトはDolby Atmosオーディオコンテンツにのみ適用されます。

6.2.3 低音の調節

お好みで低音の調節を行うことができます。



- リモコンで、**BASS** を押して低音レベルを切り替えてください。
→ 「LVL1」から「LVL5」が表示されます（デフォルト：「LVL3」）。

7. 再生

7.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ



7.1.1 電源オン

電源を入れるには、サウンドバーのいずれかのボタンを押すか、またはリモコンの $\text{\textcircled{P}}$ ボタンを押してください。

→ 自動的にサブウーファーがサウンドバーに再接続されます。**接続済み:** $\text{\textcircled{P}}$ 白色で点灯します。

7.1.2 オートスタンバイ

サウンドバーが10分以上作動しない場合、自動的にスタンバイモードに切り替わります。「STDBY」と表示されます。次の使用時にサウンドバーの電源を入れると、最後に選択されたソースに戻ります。

→ サブウーファーがスタンバイモードに入ると、 $\text{\textcircled{P}}$ も橙色で点灯します。

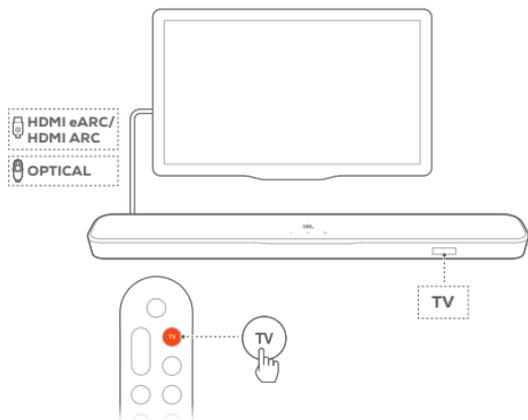
7.1.3 オートウェイクアップ

サウンドバーは、下記の場合に自動的にスタンバイモードから復帰します

- サウンドバーがHDMI eARC/ARCでTVと接続されている場合は、TVの電源が入った時。
- サウンドバーがHDMIケーブルを通してTV、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤー、ゲーム機のようなデジタル機器に接続されている場合は、デジタル機器の電源が入った時。
- サウンドバーがホームネットワークに接続され、音楽ストリーミングデバイスを通してサウンドバーに音楽がストリーミングされた時。

7.2 TVソースからの再生

接続したサウンドバーのスピーカーでTVの音声を楽しむことができます。



1. TVが外部スピーカーに対応するように設定されていて、TVに内蔵されているスピーカーがミュート状態になっていることをご確認ください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。
2. サウンドバーがTVに正しく接続されていることをご確認ください（「[5.1 TVおよびデジタル機器との接続](#)」をお読みください）。
3. TVソースを選択するには、サウンドバーの **G** ボタン、またはリモコンのTVボタンを押してください。
→ 「TV」：TVソースが選択されました。
 - 工場出荷時設定では、デフォルトでTVが選択されています。

注：

- TVとサウンドバーがHDMIと光デジタルの両方のケーブルで接続されている場合は、HDMIケーブルでの接続が選択されます。

7.2.1 TVリモコンの設定

TVとサウンドバーの両方をTVリモコンで操作するには、TVがHDMI-CECに対応していることを確認してください。TVがHDMI-CECに対応していない場合は、「[TVのリモコンの赤外線コマンド学習機能](#)」の手順に従ってください。

HDMI-CEC

TVがHDMI-CECに対応している場合は、TVの取扱説明書に記載されている機能を使用できます。TVのリモコンで、サウンドバーの「音量の+/-、ミュート/ミュート解除、電源オン/スタンバイ」機能を操作することができます。

TVのリモコンの赤外線コマンド学習機能

赤外線コマンド学習を通して、TVリモコンからIRコマンドを受信し、シンプルなコマンドについてはTVリモコンを使用できるようにサウンドバーをプログラムすることが可能です。

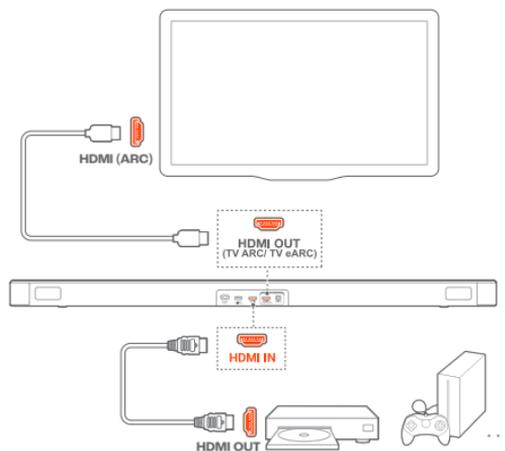
1. サウンドバーで、「**LEARNING**」と表示されるまで**C**と**+**ボタンを長押しします。
→ サウンドバーがTVリモコンコマンド学習モードに入ります。
2. TVリモコンをサウンドバーに向けてください。画面の指示に従ってTVリモコンのボタンを操作してください：
 - サウンドバーに「**POWER**」、「**VOL+**」、「**VOL-**」、または「**MUTE**」のいずれかが表示されたら、TVリモコンの好みのボタンを押します。
→ 「**DONE**」：サウンドバーがこれらのコマンドを学習します。
→ サウンドバーは最後に選択されたソースに戻ります。
 - TVのリモコンコマンド学習モードを終了するには、「**EXIT LEARNING**」が表示されるまでサウンドバーの**C**と**+**ボタンを長押ししてください。
→ 学習された機能は破棄されます。

注：

- 30秒間操作しない場合、サウンドバーは自動的にTVリモコンコマンド学習モードを終了します。学習された機能は破棄されます。

7.3 HDMI Inソースからの再生

下図のようにサウンドバーを接続すると、デジタル機器の映像をTVに出力し、音声をサウンドバーから出力して再生することが可能です。



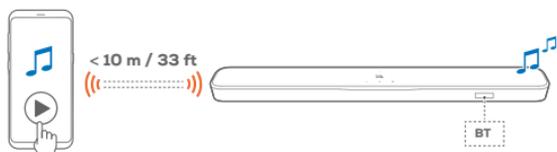
1. サウンドバーがTVとデジタル機器に正しく接続されていることをご確認ください（「[5.1 TVおよびデジタル機器との接続](#)」をお読みください）。
2. デジタル機器の電源を入れてください。
→ TVとサウンドバーがスタンバイモードから復帰し、自動的に入力ソースを切り替えます。
 - サウンドバーの**HDMI IN**を選択するには、サウンドバーの**G**、またはリモコンの**HDMI**ボタンを押してください。

注:

- HDMI-CECデバイスへの完全対応は保証できません。

7.4 Bluetoothソースからの再生

Bluetoothを使って、Bluetooth対応デバイスからサウンドバーに音楽をストリーミング再生します。



1. サウンドバーがBluetooth対応デバイスに正しく接続されていることを確認してください(「[5.2 Bluetooth接続](#)」をお読みください)。
2. Bluetoothソースを選択するには、サウンドバーの **G** ボタン、またはリモコンの **B** ボタンを押してください。
3. Bluetooth対応デバイスで音楽再生を開始します。
4. サウンドバー、TVのリモコンまたはBluetooth対応デバイスの音量を調節します。

7.5 ホームネットワークを使って再生する

注:

- サウンドバーは、オーディオストリーミングには対応できますが、動画のストリーミングには対応していません。
- Wi-Fi音楽ストリーミング中、2番目に接続したデバイスで音楽再生を開始すると、現在接続されているデバイスの音楽再生が一時停止します。

開始する前に、以下をご確認ください:

- AndroidまたはiOSデバイスがサウンドバーと同一のWi-Fiネットワークに接続されている(「[5.3 ホームネットワークとの接続](#)」をお読みください)。

7.5.1 Google Castで再生

Google Castで、AndroidまたはiOSデバイスからサウンドバーに音楽をストリーミングします。

AndroidまたはiOSデバイス側：

1. JBL Oneアプリを起動して、Google Castに対応していることを確認してください。



2. Google Cast対応アプリで音楽を再生し、キャストアイコンをタップし、接続されたサウンドバーを選択してください。



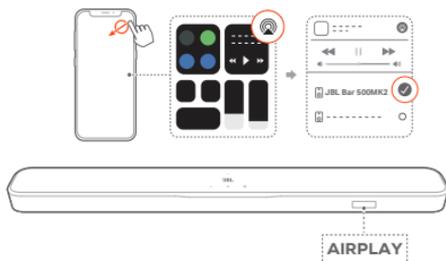
7.5.2 AirPlayを通じた再生

AirPlayを使って、iOSデバイスからサウンドバーに音楽をストリーミングします。

iOSデバイス側：

1. コントロールセンターに入るには、画面右上隅から下にスワイプします。

2. をタップして接続されたサウンドバーを選択し、アプリからオーディオストリーミングを開始してください。

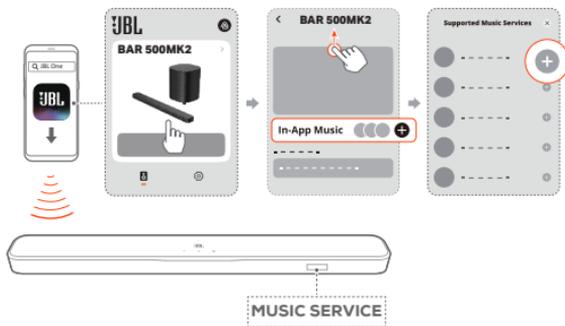


7.5.3 JBL Oneアプリを通じた再生

JBL Oneアプリを通して、対応している音楽配信サービスからサウンドバーに音楽をストリーミングします。

AndroidまたはiOSデバイス側

- JBL Oneアプリを起動し、利用可能な*音楽ストリーミングサービスをブラウズして音楽を選択し、次に接続されているサウンドバーへの音楽ストリーミングを開始します。



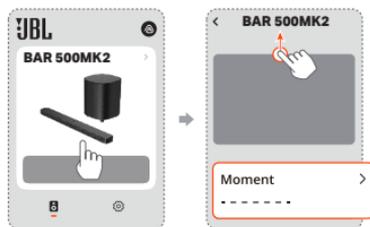
注:

- *別途サブスクリプション契約が必要であったり、JBL Oneアプリがお住まいの国でサービスを提供していない場合があります。

♡ (Moment)ボタンでプリセットにアクセスする

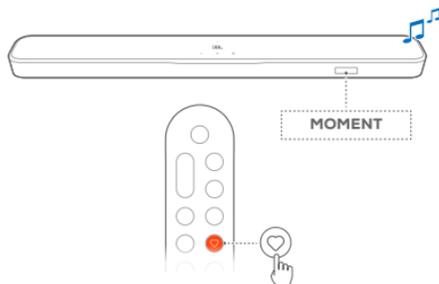
1. JBL Oneアプリ側

- ♡ (Moment)機能をカスタマイズします。



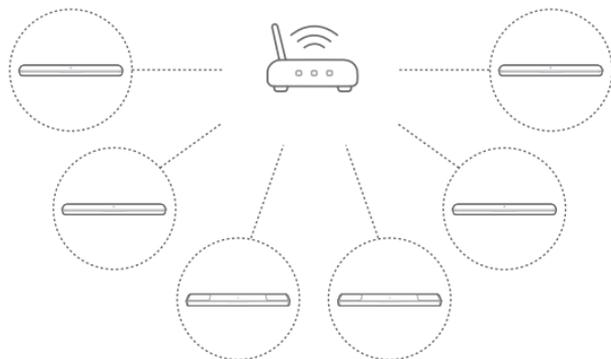
2. サウンドバー側

- リモコンの♡ボタンを押して、カスタマイズしたプレイリストとサウンドバー設定にアクセスします。



7.6 マルチルーム再生

マルチルーム再生により、AndroidまたはiOSデバイス上で複数のGoogle Cast/AirPlay対応サウンドバーに音楽をストリーミングすることができます。



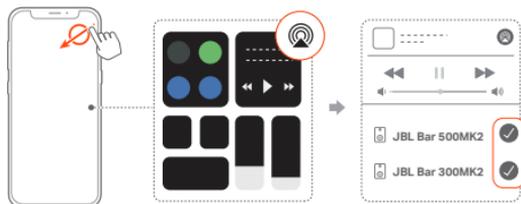
7.6.1 Google Cast

1. Google Homeアプリから、複数のGoogle Cast対応サウンドバーを同一のネットワークに接続し、複数の部屋に割り当てたり、グループを作成したりしてください。
2. スマートフォンまたはタブレットでGoogle Cast対応アプリを起動してください。
3. 音楽を再生します。📶を押して、グループ化されたスピーカーを選択してください。

注:

- Google Homeアプリでマルチルームスピーカーグループを作成するには、すべてのサウンドバーを同じホームネットワークに接続しており、同じGoogleアカウントを使用していることを確認してください。詳細については、Google Homeアプリをご参照ください。
- ローカルネットワークの帯域幅に応じて、最高6台のGoogle Cast対応サウンドバーに音楽をストリーミングすることができます。

7.6.2 AirPlay



1. iOSデバイスでコントロールセンターに入ります。
2. をタップし、必要に応じて複数の接続済みのスピーカーを選択してください。
3. アプリで音楽ストリーミングを開始します。

8. その他の使用方法

8.1 サウンド設定(オーディオシンク)

ビデオコンテンツの映像と音声にズレを感じる場合は、オーディオシンク機能により調整することができます。

1. リモコンで、TVボタンを3秒以上長押しして、次に+ボタンを押してください。
→ 「SYNC」が表示されます。
2. 5秒以内に、リモコンの+または-ボタンを押して音声の遅延を調節し、映像に合わせます。
→ オーディオシンクのタイミングが表示されます。

注:

- JBL Oneアプリを通して音声の遅延を調節することもできます。

8.2 工場出荷時設定への復元

工場出荷時設定に復元するには、、+および-ボタンを5秒以上長押ししてください。

- 「RESET」が表示されます。
- 初期化が完了すると、サウンドバーは自動的に再起動します。

8.3 ソフトウェアアップデート



サウンドバーをホームネットワークに接続してください。ソフトウェアアップデートがある場合は、自動的にオンラインアップデートが実行されます。

- 「WAIT」：ソフトウェアのアップデートが進行中
- 「DONE」：ソフトウェアアップデートの完了

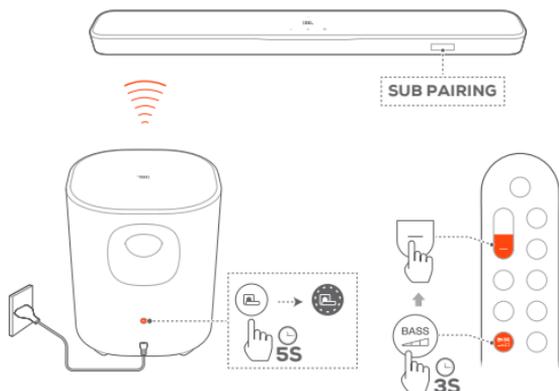
8.4 二重音声放送を切り替える

二重音声信号を含む放送の音声を切り替えます。

- リモコンで**TV**ボタンを5秒以上長押しして、次に**♡(Moment)**ボタンを押してオーディオモードを選択しください。
 - 「STEREO」(デフォルト、プライマリーオーディオチャンネル+セカンダリーオーディオチャンネル)
 - 「L MONO」(左オーディオチャンネル)
 - 「R MONO」(右オーディオチャンネル)

9. サブウーファーの再接続

サウンドバーとサブウーファーは、工場出荷時設定ではペアリングされています。電源を入れると、自動的にペアリングされて接続されます。再度ペアリングしなければならない場合もあります。



サブウーファーをペアリングモードで再接続するには

1. サブウーファーの背面パネル上で、素早く白色で点滅するようになるまで  ボタンを長押ししてください。
2. サウンドバー上でサブウーファーのペアリングモードに入るには、リモコンの **BASS** ボタンを3秒以上長押しして、次にリモコンの  ボタンを押してください。
 - 「SUB PAIRING」：サブウーファーはペアリングの準備ができています。
 - 「SUB PAIRED」：サブウーファーが接続されています。

注：

- 3分以内にペアリングが完了しない場合、サブウーファーはペアリングモードを終了し、スタンバイモードに入ります。 は白色で素早く点滅から、オフに変わります。ペアリングモードに戻るには、 を押してください。

10. 製品の仕様

全般仕様

- モデル名:BAR 500MK2
- チャンネル数:5.1チャンネル
- 電源:100~240V AC、~50/60Hz
- スピーカー出力合計*(最大 @THD 1%):750W
- サウンドバー部出力**(最大 @THD 1%):450W
- サブウーファー出力*** (最大 @THD 1%):300W
- サウンドバーのスピーカードライバー:42x80mmレーストラックドライバー x 5、20mm径ツイーター x 4
- サブウーファースピーカードライバー:260mm径
- ネットワークスタンバイ時消費電力:2.0W未満
- 動作温度:0°C~45°C

HDMI仕様

- HDMIビデオ入力:1
- HDMIビデオ出力(eARC対応):1
- HDMI HDCPバージョン:2.3
- HDRパススルー:HDR10+、Dolby Vision

オーディオ仕様

- 周波数特性:40Hz~20kHz (-6dB)
- オーディオ入力:光デジタル、Bluetooth、USB (USB再生は米国版で利用可能。その他のバージョンでは、USBはサービス専用。)

USB仕様(オーディオ再生は米国版のみ):

- USBポート:タイプA
- USB定格:5V DC、0.5A
- 対応ファイルの形式:mp3
- MP3コーデック:MPEG1レイヤー2/3、MPEG2レイヤー3、MPEG2.5レイヤー3
- MP3サンプリングレート:16~48kHz
- MP3ビットレート:80~320kbps

ワイヤレス仕様

- Bluetoothバージョン:v5.3
- Bluetoothプロファイル:A2DP v1.3、AVRCP v1.5
- Bluetoothトランスミッター周波数帯域:2400 MHz~2483.5 MHz

- Bluetoothトランスミッター出力:< 15dBm (EIRP)
 - Wi-Fiネットワーク:IEEE 802.11 a/b/g/n/ac/ax (2.4GHz/5GHz)
 - 2.4G Wi-Fiトランスミッター周波数帯域:2412~2472 MHz (2.4 GHz ISMバンド、米国11チャンネル、ヨーロッパ・その他13チャンネル)
 - 2.4G Wi-Fiトランスミッター出力:20 dBm未満 (EIRP)
 - 2.4G ワイヤレストランスミッター周波数帯域:2406~2474MHz
 - 2.4G ワイヤレストランスミッター出力:<10dBm (EIRP)
 - 5G Wi-Fiトランスミッター周波数帯域:5.15~5.35GHz、5.470~5.725GHz
 - 5G Wi-Fiトランスミッター出力:5.15~5.25GHz <23dBm、5.25~5.35GHzおよび5.470~5.725GHz <20dBm
- 注:バンド5.6~5.64GHzは、オーストラリア/ニュージーランドへの出荷時には無効化されます。

サイズ

- メインサウンドバー外形寸法(幅 x 高さ x 奥行):940 x 50.5 x 104mm
- サブウーファー寸法(幅 x 高さ x 奥行):325 x 400 x 325mm
- サウンドバー重量:2.9kg
- サブウーファー重量:8.1kg
- 梱包寸法(幅 x 高さ x 奥行):1020 x 395 x 490mm
- 梱包重量:
18.0kg(ヨーロッパ・中東・アフリカ/英国/オーストラリア/ニュージーランド)
15.86kg(その他)

* RMS @THD 1%:375W

** RMS @THD 1%:225W

*** RMS @THD 1%:150W

11. トラブルシューティング

絶対に、ご自身で本製品を修理しようとししないでください。製品使用時に問題がある場合は、以下の点を確認してください。

システム

本機の電源が入らない。

- 電源コードが電源とサウンドバーに差し込まれていることを確認してください。

ボタンを押してもサウンドバーが反応しない。

- サウンドバーを工場出荷時設定に復元してください(「[8.2 工場出荷時設定への復元](#)」をお読みください)。

サウンド

サウンドバーから音が出ない

- サウンドバーがミュート状態でないことをご確認ください。
- リモコンで正しいオーディオ入力ソースを選択してください。
- サウンドバーをTVまたは他のデバイスに正しく接続してください。
- サウンドバーを工場出荷時設定に復元してください(「[8.2 工場出荷時設定への復元](#)」をお読みください)。

音が歪んでいる、エコーのように聞こえる

- TVの音声をサウンドバーで再生している場合は、TVがミュート状態になっていてTVのスピーカーから音声が出力されていないかをご確認ください。

音声と映像が同期していない。

- オーディオシンク機能を有効にして音声と映像を同期させてください(「[8.1 サウンド設定\(オーディオシンク\)](#)」をお読みください)。

ドルビーアトモスの高さ方向のサウンドエフェクトが有効にならない

- TVがHDMI ARCのみに対応している場合、サウンドバーのHDMI IN端子を通してサウンドバーにデジタル機器が接続されていることをご確認ください(「[5.1.2 TV\(HDMI ARC\)](#)」をお読みください)
- TV/HDMIソースから映画を再生している場合は、ドルビーアトモスのサウンドエフェクトを楽しむことができます。ドルビーアトモスはBluetoothまたはキャストिंगアプリ(Google CastまたはAirPlayに対応)のストリーミングでの再生には対応していません。

Bluetooth

サウンドバーにデバイスを接続できない。

- デバイスのBluetoothが有効になっているかどうかご確認ください。
- サウンドバーが別のBluetooth対応デバイスとペアリングされていた場合は、Bluetoothをリセットしてください(「[5.2.3 別のBluetooth対応デバイスに接続する](#)」をお読みください)。
- Bluetooth対応デバイスがサウンドバーとペアリングされていた場合、サウンドバーのBluetoothをリセットして、サウンドバーとBluetooth対応デバイスのペアリングを解除し、再度Bluetooth対応デバイスとサウンドバーをペアリングしてください(「[5.2.3 別のBluetooth対応デバイスに接続する](#)」をお読みください)。

接続したBluetooth対応デバイスからの音質が良くない

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソース機器をサウンドバーに近づけるか、ソース機器とサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。

Bluetooth対応デバイスとの接続が、切れたりつながったりする。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソース機器をサウンドバーに近づけるか、ソース機器とサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。

Wi-Fi

Wi-Fiへの接続に失敗した

- Wi-Fiの電源が入っていることをご確認ください。
- ネットワークの選択とパスワードの入力に間違いがないことをご確認ください。
- ルーターまたはモデムの電源が入っていて、有効範囲内にあることをご確認ください。
- ルーターの設定で、セキュリティタイプがWPA2または自動に設定されていることをご確認ください。
- サウンドバーがスマートフォンまたはタブレットと同一のワイヤレスLANに接続されていることをご確認ください。
- Wi-Fiの設定が難しい場合は、「SETUP WIFI」が表示されるまでサウンドバーの十ボタンを長押しして再度Wi-Fi設定モードに入ってください。

再生

AirPlayがサウンドバーを音楽ストリーミング用のAirPlayスピーカーとして見つけることができません。

- Appleデバイスで、ソフトウェアを最新のバージョンにアップデートしてください。:iOS 13.4以降、macOS 10.15.4以降またはtvOS 14.3。
- Appleデバイスがサウンドバーと同一のネットワークに接続されていることをご確認ください。
- Windows用のiTunesをPCで作動させれば、Bluetoothを通してPCからサウンドバーに音楽をストリーミングすることができます。

BluetoothからGoogle CastまたはAirPlayへサウンドソースを切り換える際に、音楽再生がスムーズに行えない。

- キャスト再生の音質はサウンドバーとスマートフォン、タブレット、そしてPCのような送信側機器が接続しているネットワークの混雑具合やカバー範囲によって変わります。

BluetoothからTV/HDMI INへサウンドソースを切り替え、再度Bluetoothに切り替えた際に音楽再生が再開しない。

- BluetoothからTV/HDMI INへとサウンドソースを切り換える際に、Bluetooth対応デバイスの音楽再生は停止します。ソースを切り換えてBluetoothソースに戻す場合、再度Bluetooth対応デバイスで音楽再生を開始してください。

リモコン

リモコンが使えない。

- 電池の寿命が切れていないかどうかを確認してください。電池が寿命の場合は、新しい電池に取り替えてください。
- リモコンとサウンドバーとの距離を縮めたり、角度を変えたりしてみてください。

TVリモコンコマンド学習に失敗した

- TVのリモコンが赤外線方式のものかどうかご確認ください。赤外線コマンド学習機能はBluetooth方式のTVリモコンには対応していません。

12. 商標



The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by HARMAN International Industries, Incorporated is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.



The terms HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI trade dress and the HDMI Logos are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.



The Wi-Fi CERTIFIED™ Logo is a registered trademark of Wi-Fi Alliance®.

COMPATIBLE WITH



Dolby, Dolby Vision, Dolby Atmos, and the double-D symbol are registered trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation. Manufactured under license from Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright © 2012–2024 Dolby Laboratories. All rights reserved.



Google, Android, Google Home, Google Cast and other marks are trademarks of Google LLC. Google Assistant is not available in certain languages and countries. Availability and performance of certain features, services, and applications are device and network dependent and may not be available in all areas.



Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple, and AirPlay are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries and regions. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

To use AirPlay with JBL Bar 500MK2, the latest version of iOS, iPadOS, or macOS is recommended.



Use your phone, tablet or computer as a remote control for Spotify. Go to spotify.com/connect to learn how.

The Spotify Software is subject to third party licenses found here:

<https://www.spotify.com/connect/third-party-licenses>.

ROON READY

Being Roon Ready means that HARMAN uses Roon streaming technology, for an incredible user interface, simple setup, rock-solid daily reliability, and the highest levels of audio performance, without compromise.



Works with
Samsung SmartThings

13. オープンソースのライセンスに関する注意

本製品はGPLの許可を得たオープンソースソフトウェアを内蔵しています。参考までに、ソースコードと関連する構築指示はhttps://harman-webpages.s3.amazonaws.com/Harman_One_OS_C_package_license_list.htmでも入手可能です。

以下にお問い合わせください:

Harman Deutschland GmbH

HATT: Open Source, Gregor Krapf-Gunther, Parkring 3
85748 Garching bei Munchen, Germany

または、製品のオープンソースソフトウェアに関する追加の質問がございましたら、OpenSourceSupport@Harman.comまでお問い合わせください。



HARMAN International
Industries, Incorporated
8500 Balboa Boulevard,
Northridge, CA 91329 USA
www.jbl.com

© 2025 HARMAN International Industries,
Incorporated.

無断複写・転載を禁じます。

JBLは、HARMAN International Industries,
Incorporatedの、米国および/またはその他の国々
の商標です。特徴、仕様および外観は、予告なしに
変更されることがあります。



JBL_HA_Bar 500MK2_OM_JP_CR_V3